

空を見上げる

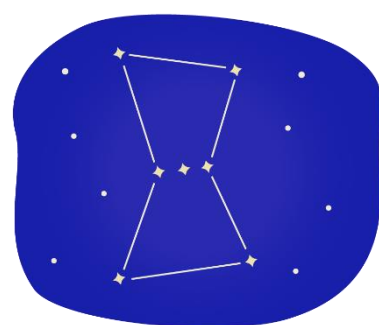
教頭 角 玲子

日増しに寒さが深まり、冬が近づいてきました。

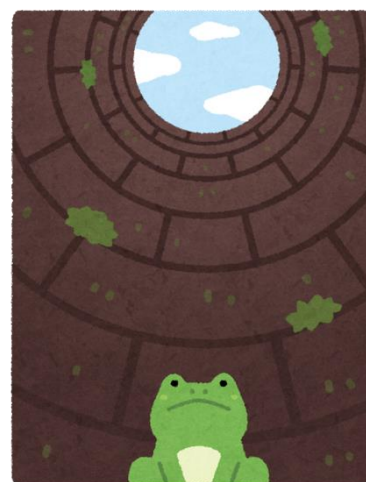
少し前になりましたが、今月は皆既月食と天王星食がありました。この2つが重なることは442年ぶりとのこと。当日は天気も良く、赤い月が少しずつ隠れていく様子をはっきりと見え、私の自宅の近くでも、多くの人がひとときの天体ショーを楽しんでいました。皆さんも月を眺めましたでしょうか。



ある大学の先生より、「自分は、1日一回は必ず空を眺めるようにしている。空を眺めるといろいろなことから解放され、気持ちが整理される。空を眺めることはおすすめです。」というようなことを伺いました。それ以来、私も、必ず1日に一度、意識して空を眺めるようにしています。今の時期、夜空はオリオン座がとてもきれいに見えます。また、明け方、うっすらと地平線が明るくなってきた上に白い月が浮かんでいるのも素敵です。周囲に気を付けながらも空を見上げながらのんびり歩き、リフレッシュを図っています。



「井の中の蛙大海を知らず」ということわざはみなさんご存じのことと思います。自分の狭い知識や考えにとらわれ、他に広い世界があることを知らず得々としているさまを表します。中国の思想家である荘子の言葉を語源としており、「世間知らず」「独りよがり」など、あまり良いイメージでは使われないことわざです。高校生のころ、ラジオの中で、このことわざには続



きがあると紹介されました。「井の中の蛙大海を知らず。されど空の蒼さ(深さ)を知る」というものです。狭い世界を突き詰めたからこそ、わかるものもあるということで、高校生ながら、なんと素敵な言葉であるかと思ひ、たった1度聞いた言葉なのに、鮮明に記憶に残りました。のちに調べたところ、この言葉は、日本で付け加えられたものらしく、語源や誰の言葉かは不明であると知りました。ですが、この言葉の素敵さに変わりはなく、いろいろな側面からものごとを捉えていきたいと思っています。

今月は空繫がりの話題でした。皆さんも時々空を見上げてみてはいかがでしょうか。